

■ 私書箱 [証憑管理] 活用 会計事務所のメリット

電子帳簿保存法対応【証憑管理】は、会計事務所と顧問先の情報共有システム「私書箱」のオプションとして2023年11月にリリースいたしました。

顧問先の電帳法対応としてだけでなく、会計事務所の業務にとってもメリットがあるメニューとなりますのであらためてその特色をご案内いたします。



●● 各種書類を「紙で回収」から『データで共有』へ

会計事務所 アップロード用のリストを作成

顧問先がアップロードしやすいようにリストを作成しておきます。 ※リストは顧問先側でも作成、修正可。
電子帳簿保存法にこだわらず、顧問先にアップロードしてほしい書類(=データで共有したい書類)のリストとすることで、さまざまな業務の効率化を図ることができます。

顧問先 リストに沿ってファイルをアップロード

顧問先はリストに沿って請求書や通帳・カード明細などのファイルをアップロードします。
また、1ヶ月分のアップロードが終わった際に会計事務所へ完了通知を送ることができます。

「顧問先が」「リストに沿って」アップロードすることで…

<原始資料の回収がなくなる>

訪問して資料を持ち帰る、あるいは郵送してもらう時間と手間がなくなるだけでなく、紛失等のリスク防止にもなります。

<必要な資料にいつでもアクセスできる>

顧問先の取引内容に合わせたアップロードリストを作成しておくことで、過去分も含め必要となった資料をすぐに見つけることができます。

私どもエヌエムシイグループの「エヌエムシイ税理士法人」では、すでに300件ほどの顧問先への【証憑管理】導入を完了しております。

顧問先への導入アプローチ方法はエヌエムシイ担当営業までお気軽にご相談ください。

また、活用のコツをご案内するYouTube動画も掲載しております。

証憑管理 活用術 NMC



nmc-ao.jp【証憑管理活用術】No1~6